

### 3. 提 案

住み良いまちづくりを呼びかけていながら、壊してしまう今の行政から本当に作っていく行政に

- 1 歴史上の人物池上幸豊 今の川崎区 新田開発と和製砂糖の元祖の屋敷があり、その庭園と樹木 洋館 2年前までありましたが行政に予算がないという事で、残せず貴重な財産を失いました。その経験もあって提案として昔にもどす
- 2 川崎区は唯一海辺があるところ戦前戦後、潮干狩が出来て家族揃って一日中過ごせた所、それを私達大人がその海岸を石油コンビナートに変えてしまった。テレビやお金がかかる遊園地やゲームセンターしか今の子供達にはありません。自然の中で伸びのびと遊の出来る所、やれば出来るめぐまれた海浜を年月をかけて、作ってやるのが今私達の責任だと思っています。自然を取り戻しそうと東京や横浜にも出来ている所も、現実にはあるわけですから行政がやる気さえあれば出来る事、手塚ワールドがその候補地にと新聞で拝見していますが、行政の土地つまり市民のもの、現在緑地整備している千鳥や浮島を広くもりこんだ計画を、横浜八景島にあるような緑豊かな樹林や芝生広場、潮干狩や海水浴 散策 海と海辺を多くの親と子供が一日中遊べるような、長期計画で実現にむけ進めて行く事を提案

#### ●提案を実現していくために・・・

○市民にできること・市民がすること 行政と1路に出来ること 行動で  
皆んなが行けるサイクリング路(企業交流) 多摩川エサ

○行政に期待したいこと

近隣企業に協力のよびかけ 又 土地提供してもらう

○短期的(すぐ)にできること

予算のともなわな 提案内容は 出来る

○長期的に取り組むことが必要なこと

行政が前向きにやる事 現在の予算の使い方を 変えて 出来ること

## 5. 臨海部を変える

### 1. 提案のタイトル ●臨海部に砂浜、海水浴場、海浜公園をつくる

陸地と海の境界は、セメントではなく、砂浜に。

### 2. イメージを伝える写真・絵・図など



写真①

お台場海浜公園  
の砂浜、左側の  
大きな建物は  
フジテレビ本社  
ビルで右側の  
反対側は  
レインボータウン方面



写真②

お台場海浜公園  
には水の上の  
祭囃場もあり  
(写真中央は水の上)

### 3. 提 案

かつての川崎の海辺は町で砂浜で多くの市民が海水浴に、そして近くに居住する人々は海産物の収穫に利用を続けていた。しかし日本「高度経済成長」の波と共に高度長大産業が市域南部を占め、次第に不足を埋め立てる方法で抗げていった。その結果水際がコンクリートで固められ、市民と海の間に大きな距離を及ぼしていった。その反省を以て、いまさらでも戻さねばならぬ、人工でいかに海と親しくぬる場をつくり出し、左の写真は太い杉林にほれ思うので貼付した。お台場海浜公園である。

そしてこうした意見は「川崎海の歴史保存会」などからも出されている。真陰に陣いてほしい。

#### ●提案を実現していくために・・・

○市民にできること・市民がすること

何年か前から出されている声であり、更に抗っていく事。

○行政に期待したいこと

船の入る予定のない港づくりは今すぐやめて、人の行き交う海辺づくりに方向転換を！

○短期的(すぐ)にできること

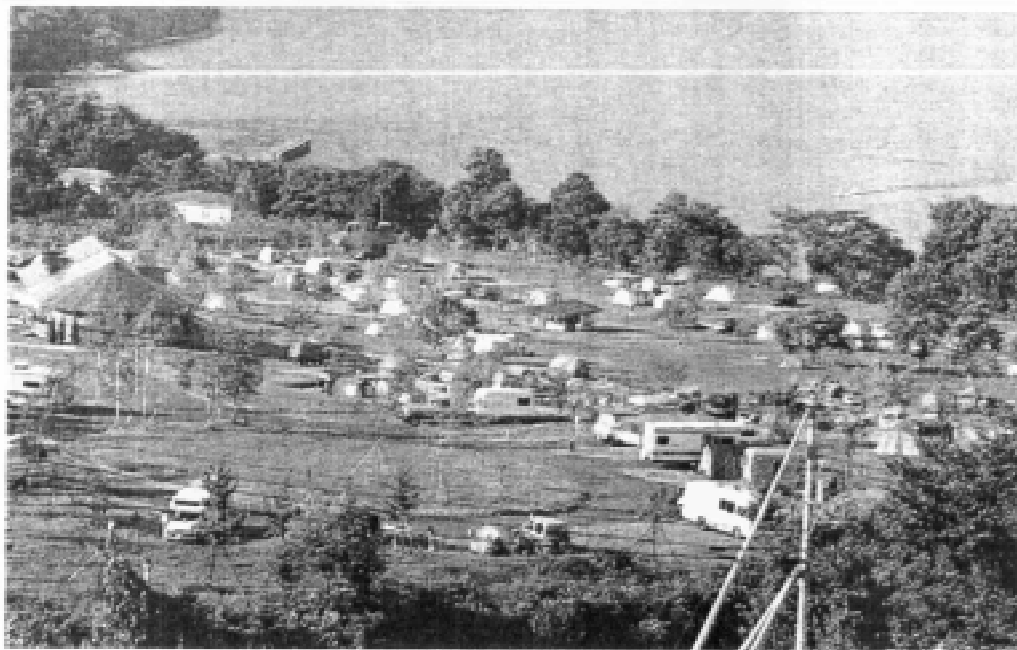
○長期的に取り組むことが必要なこと

## 5. 臨海部を変える

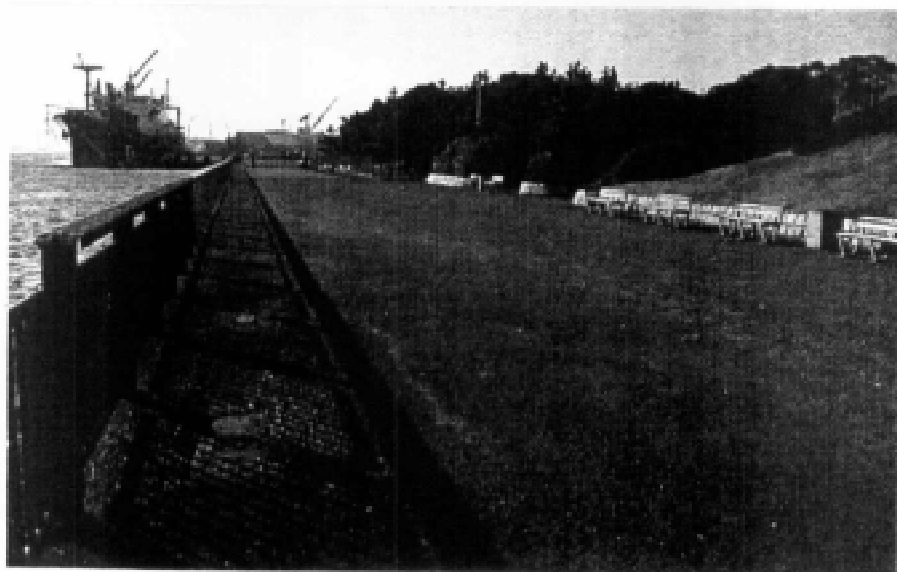
### 1. 提案のタイトル

臨海部に砂浜・海水浴場・海浜公園をつくる

### 2. イメージを伝える写真・絵・図など



キャンプ場イメージ



現在のちどり公園

### 3. 提 案

・千鳥公園

オートキャンプ場・ハーベキュー場

(貸テント等の設備も考える)

・津廟島

海の自然公園、海水浴場

海苔の史料館、海苔木体験場

#### ●提案を実現していくために・・・

○市民にできること・市民がすること

市民の力で公園をきれいにし自分達の町という意識を高める

○行政に期待したいこと

市民だけではできない部分を援助する

○短期的(すぐ)にできること

千鳥公園整備

○長期的に取り組むことが必要なこと

## 5. 臨海部を変える

### 1. 提案のタイトル

#### ●ハイテクのイメージと緑が充実した臨海部をつくる

### 2. イメージを伝える写真・絵・図など

#### 生活指数（住みやすさ）の提案

町作りの提案にあたりその内容の妥当性を評価（アセスメント）するために生活評価指数（住みやすさ）の採用を提案します。それぞれの施策案にはその効果と費用が明確にされて始めて判断が可能になるものですから。

その評価指数とは、住民の希望やあるべき姿にどれだけ近いかで評価される事だとおもいます。もう一つは他の市町村との比較したものが必要になります。経済、環境、教育、高齢者、福祉、文化、公共施設、公園、バリアフリー指数など様々な観点から考え下記3点を設定することが必要です。

- 1) 評価指数（例：車椅子で一人で入れるお店の数）
- 2) その定義や説明（例：区内のそのお店の数と全体のお店の数の比）
- 3) 目標値と設定理由（例：100% 先進国では当然の事であるから）

#### 21世紀への川崎の町作り

川崎というと公害の町という印象が日本の広くに行き渡っております。しかしながら近代の産業の牽引力となり日本の発展に貢献してきました。ご存知のように川崎は日本で初めて生産された新製品が実に多いのです。しかしながら最近では国際競争力が無くなり、南部地区では町がかなり寂びれてまいりました。それは公害規制によりコスト高、そして長い間革新的な新製品が生まれず、生産的改善が限界に達してきた事、高い税金や人件費が要因となったというのが理由だと考えております。結局、川崎区に残っている設備は教育文化会館、競輪・競馬場、野球場だけでは、あまりに寂しいではありませんか？これでは世界に通用する優秀な人間は川崎区に集まりません。川崎市役所の人何人が川崎区に住んでいるのでしょうか？ 初期の計画に評価指数があれば、今と違った川崎区となったと思います。

### 3. 提 案

私の提案は以下です（評価指数は未検討です）。

キャッチフレーズ：緑と水の町 そして 国際的ハイテクシティー川崎

（案1）

東扇島などの1つの島を特別区としミニ・ニューヨークを作る事です。ここではドルが使える、海外のお店があり英語や日本語の飛び交う町とし、ジャズクラブもレストランも沢山あり、さらに世界の優秀な人材を集めそこで住み、最先端のSOHOビジネスなどができる24時間都市とします。島の中にはデータハイウェイの設備があり24時間世界に通信で結ばれています。町の中の移動は自転車もしくは電気自動車とします。

また運動場や公園、インターナショナルスクールもありその周りは海と遊ぶことのできるボードデッキで囲まれ、さらに川崎駅や羽田、都心また横浜とは船で結びます。

（案2）

臨海地区に遺伝子工学などを利用した煙突の1本も無い超近代的な野菜農場（工場）をつくります。また環境対策の研究所を作ります。その周りには沢山の木々を植え鳥たちの住むサンクチュアリーにします。もちろん運動広場やバーベキュー広場などもつくります。空から見ると大きな森としか見えません。もちろん海も市民に開放します。

川崎は川と海に囲まれているのですから。

（案3）

川崎には昔、町の中央を川が流れておりました。しかし効率的でないという理由ですべて破壊されてしまいました。川は人の心をなごませ、子供達の遊び場でもあり、老人達の憩いの場でもあります。川崎駅から新川橋を通り海まで川を戻し、その両側には散歩道とレストランなどの小さなお店を作り、絵を描く人がおり、ベンチではPCに向かって仕事をする外国人の姿が見られる景色、これが私の夢です。

#### ●提案を実現していくために・・・

○市民にできること・市民がすること

生活評価 指標の検討

○行政に期待したいこと

海外企業家向けの 川崎の宣伝

○短期的(すぐ)にできること

予算案とビジョンの決定

○長期的に取り組むことが必要なこと

具体的なコスト算出と誘致活動